

## 平成28年 建設業死亡災害事例

No.	月	業種	職種	年齢	経験	発生状況	事故の型	起因物
1	1月	土木工事業	その他の 作業員	30歳代	1年以上 5年未満	被災者は、建築物の雨水排水管のヘドロ等の詰まりを除去するため、マンホールに入っていたところ、突然、水が流入し溺死した。	おぼれ	その他の 装置、設備
2	2月	土木工事業	土工	20歳代	1年以上 5年未満	急傾斜地の崩壊防止工事現場で、ケーブルクレーンを用いて解体した単管足場の部材をつり上げたところ、部材が崩れ足場上にいた被災者に激突し、被災者が法面から約17メートル転落した。	飛来、落下	クレーン
3	2月	建築工事業	大工	70歳以上	30年以上	木造2階建て住宅新築工事で、建物2階内部の床材となるベニア板を貼っていた被災者が、仮置きしていたベニア板に乗ったところ、ベニア板が床から外れたため、バランスを崩し約2.7メートル下へ墜落した。	墜落、転落	開口部
4	2月	その他の 建設業	現場職員	40歳代	10年以上 20年未満	機械式立体駐車場の解体作業で、解体した鉄骨を移動式クレーンで降ろそうとしていたところ、鉄骨が既存の鉄骨梁に当たり降ろすことができなかった。被災者は鉄骨梁に行きパールで移動式クレーンで吊られた鉄骨を引き離そうとした際、鉄骨が振れて被災者に当たり、被災者が約5メートル下の地面に墜落した。	激突され	荷姿の物
5	3月	建築工事業	大工	60歳代	5年以上 10年未満	木造建築工事で、母屋上の垂木取り付け作業中、被災者が木材等を運搬していたところ、母屋材と母屋材との間から約4.3メートル下に墜落した。	墜落、転落	屋根、はり、 もや、けた、 合掌
6	3月	建築工事業	作業員・ 技能者	50歳代	20年以上 30年未満	作業構台のドラグ・ショベルを使用し、構台から根切り底へ鉄筋の荷降作業が行われた。当該作業完了後、所定の置場まで自走後、時計回りに旋回させたところ、被災者が旋回体と構台の手すりにはさまれた。	はさまれ、 巻き込まれ	掘削用機械
7	4月	その他の 建設業	塗装工	70歳以上	1年以上 5年未満	3階建てビルの塗装工事の養生を行う予定であった被災者が、路上で倒れていたところを通行人に発見された。	墜落、転落	建築物、 構築物
8	4月	建築工事業	設備機械 工	40歳代	5年以上 10年未満	被災者は、自社加工場の1階でエレベーターの搬器上に置いた脚立に乗って、壁につり下げられていたドリルを取った。被災者が、脚立から搬器上に降りたところ、搬器を吊っていた電動チェーンブロックを固定していた鋼材の溶接部が外れ、搬器とともに地下1階まで墜落した。	墜落、転落	エレベータ、 リフト
9	5月	土木工事業	配管工	60歳代	5年以上 10年未満	トラック荷台に積み込まれていた小型ドラグ・ショベルを荷台から下す作業中、小型ドラグ・ショベルの運転を行っていた被災者が小型ドラグ・ショベルとともにトラック荷台から転落した。被災者は小型ドラグ・ショベルのキャビンに備え付けられたヘッドガードに挟まれた。	墜落、転落	掘削用機械
10	5月	土木工事業	土工	30歳代	1年以上 5年未満	水門の耐震補強工事において、切断したコンクリート製の戸当たりの一部にアンカーボルトを打ち込み、クレーンを用いて吊り上げ、旋回しようとした際に、アンカーボルトが抜け吊っていたコンクリート製戸当たりが足場を直撃した。コンクリート製戸当たりの直撃により、足場作業床が外れ開口部となった箇所から、被災者1名が約12m下に墜落し死亡、他1名が足を打撲した。	墜落、転落	移動式 クレーン

No.	月	業種	職種	年齢	経験	発生状況	事故の型	起因物
11	5月	その他の建設業	作業員・技能者	20歳代	1年未満	被災者は、業務用冷蔵庫の室外機の交換作業のため、2階建て建物の屋上に設置されていた鋼材の上に立ち、滑車とロープを用いて室外機を下していたところ、固定していた滑車が外れたことにより、バランスを崩し、1階床面に墜落した。	墜落、転落	建築物、構築物
12	5月	建築工事業	管理者	40歳代	10年以上 20年未満	被災者は出張先の工事現場で打ち合わせ終了後、作業員休憩所に向かうため、信号ないT字路交差点の横断歩道を歩いていたところ、軽自動車にはねられた。	交通事故 (道路)	乗用車、バス、バイク
13	6月	建築工事業	電工	30歳代	1年以上 5年未満	被災者は火災報知器に連動する煙感知器の配線工事中、コンクリート面から高さ5.7mにある埋設配管端部の耐火処理作業を移動はしご上で行っていたところ、バランスを崩しコンクリート面へ墜落した。	墜落、転落	はしご等
14	7月	建築工事業	塗装工	30歳代	10年以上 20年未満	被災者は外壁塗装工事に伴う屋上手すりの塗装作業中、高圧電線の引き込み線の充電部に触れたため感電した。	感電	送配電線等
15	8月	その他の建設業	防水工	40歳代	5年以上 10年未満	高速道路のトンネル内で片側2車線のうち左側車線を規制して、高所作業車の作業台に3名が乗って作業を行っていたところ、右側車線を走行中のトラックが高所作業車の作業台に衝突し、その反動で2名が4メートル下の道路に墜落し、1名が死亡、1名が負傷した。	墜落、転落	高所作業車
16	8月	建築工事業	配管工	50歳代	10年以上 20年未満	新築工事現場の1階床面開口部に手すりを設置するため、作業員が塞いでいたベニア板を外した。被災者は当該開口部が塞がれていると思って通行したところ、開口部から約4メートル下の地下1階部分に墜落した。	墜落、転落	開口部
17	8月	その他の建設業	解体工	70歳以上	1年未満	被災者は木造2階建て家屋の解体工事において、屋根の瓦撤去作業中、地上6メートルの地点から墜落した。	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌
18	9月	土木工事業	土工	50歳代	5年以上 10年未満	緑地の擁壁補強工事で、擁壁に開けた孔部に長さ6mのアンカーを挿入するため労働者4名で持ち上げたところ、アンカー先端部が現場に近接した高圧電線に触れて全員が感電し、1名が死亡、1名が重傷、2名が軽傷を負った。	感電	送配電線等
19	9月	その他の建設業	造園工	70歳以上	20年以上 30年未満	剪定工事において、被災者は高さ約7メートルの樹木の一番下にある高さ2.5mの枝にはしごを掛けた。被災者はその枝の上に乗って剪定方法を確認するため地上にいた責任者に対し、自らがいる位置まで登ってくるよう促した。責任者がはしごを2、3段登ったところで被災者が乗った枝が折れ、被災者は枝の上から地面に墜落した。	墜落、転落	立木等
20	10月	建築工事業	とび工	50歳代	20年以上 30年未満	マンションの耐震補強工事で、外部足場の解体作業を行っていた被災者が約22.6メートル下の歩道上に墜落した。	墜落、転落	足場
21	10月	建築工事業	大工	20歳代	1年未満	2階建て木造新築工事現場の2階梁上で梁を固定する作業を行っていた被災者が、別の箇所でも2階の梁を固定する作業を行っていた作業者に梁固定用のボルトを持っていくため、2階の火打ち材に足を掛けたところ、火打ち材が外れバランスを崩して火打ち材とともに約6メートル下のコンクリート土間に墜落した。	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌

No.	月	業種	職種	年齢	経歴	発生状況	事故の型	起因物
22	10月	建築工事業	管理者	10歳代	1年未満	ホテル建設現場で掘削後埋め戻した土砂を固めるため、作業員がドラグ・ショベルを後退させたところ、歩いていた被災者がドラグ・ショベルにひかれた。	はさまれ、巻き込まれ	掘削用機械
23	11月	建築工事業	とび工	30歳代	10年以上 20年未満	共同住宅の建設工事で外部足場に落下物防止用の防護棚（朝顔）の設置作業を行っていた被災者が、設置された防護棚の端から約12メートル下の地面に墜落した。	墜落、転落	その他の仮設物、建築物、構築物等
24	11月	建築工事業	型わく 大工	40歳代	1年以上 5年未満	被災者が、資材置場で積載形トラッククレーンの荷台に乗り、型枠材の荷卸し作業をしていたところ、つっていた型枠材が落下し被災者の頭部に当たった。被災者は型枠材が当たった衝撃で、トラッククレーンの荷台から地面に落下した。	飛来、落下	玉掛用具
25	11月	土木工事業	運転者	20歳代	1年以上 5年未満	道路復旧工事で使用する砕石を引き取るため、3tダンプを運転し工場に向かっていた被災者が、高速道路でスリップして中央分離帯などに激突し車外に放り出された。	交通事故 (道路)	トラック

本表の災害は、安全課が平成29年3月までに把握した、東京労働局管内の事業場で発生した平成28年建設業の死亡災害です。